

プレスリリース

全日本コーヒー検定委員会(本部:新橋、委員長:鈴木修平)が、平成 28 年に実施いたしました第 26 回及び第 27 回コーヒーインストラクター2級検定、第 12 回コーヒーインストラクター1級検定、並びに第 11回コーヒー鑑定士マスターコース検定の結果をご報告申し上げます。

第 26 回 及び 第 27 回 コーヒーインストラクター 2級 検定

昨年(平成27年)には講習会の回数を増やしお待ちいただいていた多くの方の受け入れを達成し、本年(平成28年)は空席が出るのではないかと危惧しておりましたが、本年も1,600名近いご応募をいただき一部会場では抽選となってしまいました。

昨年の小学6年生の男子児童の合格に触発されてか、本年の応募者にも最年少11歳を筆頭に小中高生の応募者が増え若年齢化が進んでいるように感じます。

合格者の最年少15歳から最年長60歳と幅広い年齢層の方々の登竜門となっているようです。

2級認定者数累計が11,000名を超えました。

熊本地震被災者特別対応(地震に起因して受験が困難になった方への返金や受験の振り替えなど)の予定をしておりましたが幸い該当者はありませんでした。

2017年3月に教本の改訂版の発売を予定しており、2017年春季2級検定講習会(第28回)より使用する予定です。同時に試験を記入式からマークシートに変更いたします。(2級)

第 12 回 コーヒーインストラクター 1級 検定

1級検定は本年(第12回)より、過去10年以内に受講歴のある方は試験のみの申し込みを可能とする受講免除制度がスタートしました。試験会場に空席がある場合のみ申し込みが可能と言う条件付きですが本年は20名の方が新制度にて受験されました。

応募者総数は、2級認定者の増加に伴い初めて400名を超えました。

1級試験のマークシート導入に関しては現在検討中です。

第 11 回 コーヒー鑑定士マスターコース 検定

第11回を迎え応募者総数(3教科の延べ人数)が初めて100名を超えました。

合格者は、生豆鑑定 10名、品質管理 7名、商品設計 8名で鑑定士の合格が7名ありました。

累計で26名の鑑定士が誕生いたしました。

鑑定士マスターコースの試験のマークシート導入は予定しておりません。

2016年12月27日発表

JCQA コーヒー鑑定士について

コーヒー検定事業の目的

コーヒーの知識と技術の向上を図り、消費者が評価するコーヒーの生産及び消費の促進・振興を目指します。

コーヒー鑑定士の概要

認定基準

コーヒーの原料調達、製造加工、品質管理などの専門職に求められる高度な専門知識と技術を有する方をコーヒー鑑定士として認定します。

1. 商品設計: 様々な市場や要望に対して、品質・コスト・製造条件などを考慮して適切な商品設計の仮説を想定できること
2. 生豆鑑定: 生豆のグローバルな知識と、外観からカップテストに至る鑑定技術を有し、品質格付や原料価格の妥当性、安定性などを見極められること
3. 品質管理: 品質に起因する問題が生じた際に、環境や設備に応じて相応の改善策や解決策を示せること

受講・受験対象

コーヒーインストラクター1級合格者で、資格認定されている方。

合格基準

JCQA 鑑定士は、3教科(商品設計、生豆鑑定、品質管理)の単位制とし、80点以上取得した教科について、その教科のマスターとして認定します。

3教科全てのマスター認定を受けた方を、JCQA コーヒー鑑定士として認定します。

JCQA コーヒーインストラクター1級について

コーヒーインストラクター1級の概要

認定基準

より高度で専門的な知識と鑑定技術。コーヒー製造業者に求められる、プロとしての必要な知識と鑑定技術を習得した方を認定いたします。

受講・受験対象

コーヒーインストラクター2級合格者で、資格認定されている方。

合格基準

JCQA コーヒーインストラクター1級は、学科・実技とも各80点以上取得した方を合格とし認定いたします。

コーヒーインストラクター2級の概要

認定基準

基本的なコーヒーの知識と鑑定技術。コーヒーを飲むだけでなく詳しく勉強したい方を対象にした資格で、コーヒーの対面販売に従事する方に求められる基本的な知識・鑑定技術を習得した方を認定いたします。

受講・受験対象

特に制限は設けておりませんが、日本語での講習会並びに試験に通訳の介在なくご参加いただける方。

合格基準

JCQA コーヒーインストラクター2級は、70点以上取得した方を合格とし認定いたします。

全日本コーヒー検定委員会 *J.C.Q.A. :Japan Coffee Qualification Authority*

我が国のコーヒー製造販売業者で組織する“全日本コーヒー商工組合連合会”が、コーヒーに関する研究・教育・資格認定を目的として2000年に発足した団体です。

全日本コーヒー商工組合連合会 代表理事会長：萩原孝治郎

全日本コーヒー検定委員会 委員長：鈴木修平 副委員長：山下雅彦

全日本コーヒー検定委員会事務局 TEL:078-252-8512 FAX:078-252-8550

ホームページ：<http://kentei.jcqa.org/>

本件に関するお問い合わせ

お手数ですが、当リリースのヘッドレター記載された検定委員会広報担当までお問い合わせください。

以上